

銀行を、
人に合うかたちへ
変えていく。



伊予銀行

エレベーターメーカーじゃないと
保守や修理対応は難しいでしょ？

ほとんどのメーカーに
対応しています！
最大50%のコストダウン
を実現します！



創業44年 エレベーターの保守・改修工事
愛媛メンテナンス株式会社

感動を、けずりだそう。

マルトモ

プレミアムなかつお節といえば
「プレ節」です。

プレミアム
Dried bonito

TEL 07999-3192 愛媛県伊予市米湊169番地 HP <https://www.marutomo.co.jp>

阿ることなく・恐れることなく

週刊 愛媛経済レポート

1973年創刊

2025年(令和7年)5月5日(5月5日・12日合併号) 第2444号

ユナイテッドシルク シルクで柑橘の賞味期限を延長

実証実験で柑橘にシルク水溶液をコーティング



右の写真がコーティングしたもの。実証実験は清見と紅プリンセス(愛媛県試第48号)で行った

今回の事業は、23年度に県のデジタル実装加速化プロジェクト「トライアングルエヒメ」の採択を受け実施。2年間にわたり実証実験を行った。

「フードロス削減や物流業界の人手不足問題の解消などに貢献できれば」(同)とする。引き続き、大手企業と連携し、糖度の分析なども進めていく。同社は量産体制を構築するため、設備の増強も行う計画。

同社は2016年設立。新たなシルク産業の創出に向けた事業を展開する。松山や今治に工場を設置し、スマート養蚕システムにより、カイコを効率よく生産。また繭からタンパク質のフィブロインを抽出し、食品などの原料となるシルクパウダーやシルク水溶液の製造を行う。

これにより膜を形成し、水分の蒸発を防ぐほか、空気中の酸素との結合を適度に阻害するため賞味期限を延長できるという。

柑橘は連携先である(株)新口農園(八幡浜市)が提供。実証実験は、同社の選果場などで行った。「実証を重ねた結果、コーティングしないものと比べ、1・5〜2倍ほど長持ちする見込み」(河合社長)としている。

今秋からの実用化を目指しており、県内のJAなどをターゲットに提案・販売を進める考え。「コーティングする品種は主に高級柑橘を考えている」(同)とする。フランスなど海外への輸出も視野に入れる。安全面については米国のFDA(アメリカ食品医薬品局)の認証を取得している。

フードロス削減に

ユナイテッドシルク(株)(松山市大街道、河合崇社長)は、シルクを活用し、柑橘を長持ちさせるための実証実験を行った。県内農家などと連携。同社が製造するシルク水溶液を柑橘にコーティングすることで、保湿効果により賞味期限を延ばせるといふ。今秋からの実用化を目指し、輸出も視野に入れる。フードロス削減などにつなげたい考え。

太陽光発電・蓄電池で
スマイルパワー

電力コスト削減!!

株式会社 菅工務店 新居浜本社 松山事業所

☎0800-200-8678



かわしん講演会 探訪

川之江信用金庫(四国中央市、日浦博基理事長)は4月18日、元鳥取県知事で大正大学地域構想研究所長兼公共政策学科特任教授の片山善博氏による講演会を開催した。

この講演会は、同金庫が地域事業者の経営力向上を図る目的で2019年に発足させた「かわしんビジネスクラブ」(会員数109社)のカリキュラムとして毎年開催している。



片山氏は「人口を減らさない」思考からの脱却を訴え、「スマー
トシユリンク」を提唱している。
人口減少を現実として受け止めつ
つも、地域
活力と生活

水準を維持・向上させる考え方だ。講演会では統計データを示しながら「人口減少が必ずしも経済縮小に直結するわけではない」と指摘。デジタル化や多様な労働力の活用が経済成長を支える可能性について論じた。鳥取県庁での経験をもとに、女性や異業種人材の活用の重要性を強調。「偏見や組織の壁を取り払い、個々の能力を最大限引き出すことが組織力向上につながる」と述べた。

さらに地方創生のアプローチとして、地域特性を生かした住民主体の未来設計についても説いた。和歌山県や岡山県、沖縄県の事例を挙げ、地域の不要物や廃棄物から新産業を創出する可能性について言及。「人口減少社会において、地域の創意工夫と一人ひとりの能力活用こそが、日本の経済を押し上げ未来を切り開く原動力になる」と穏やかに語った。

社長の★Birthday

兵頭寛昭さん(大進建設株)、
昭和49年4月28日
近藤誠二郎さん(有島津寿司)、
昭和57年4月29日
赤松正教さん(アカマツ株)、
昭和57年5月2日
阿部仁志さん(有家具工房)、
昭和34年5月4日
山本一郎さん(イワキテック株)、
昭和44年5月5日
大西誠さん(カネサ運輸株)、
昭和40年5月6日
芳野裕士さん(株GOOD F
IELD)、昭和48年5月7日
松田正人さん(御荘造園開発株)、
昭和41年5月8日
小田茂晴さん(潮冷熱株)、
昭和43年5月9日
櫻井正次さん(株Eーシステ
ム)、昭和56年5月11日

2025年版(会社年鑑)より一部掲載

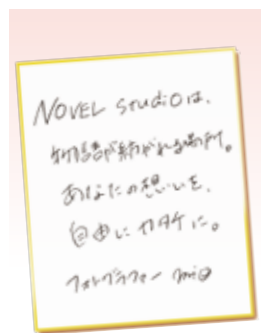
思わず行きたくなる! ひと
うわさの女フォトグラファー
mio さん

所在地: 松前町西古泉45
*スタジオ撮影やスタジオレンタルなどさまざまなプランを用意している。プランの詳細や料金はHP参照。問い合わせは公式LINEから。



Instagram

mioさんは今年3月、空き家を活用し、松前町にフォトスタジオ「NOVEL studio」をオープンした。NOVELには「つながりを生み、新たな物語を紡いでいくという意味を込めました」と話す。



松前町出身。以前は別の仕事をしていたが「さまざまなクリエイターの皆さんと出会い、私も自分の持っているものを生かして誰かの役に立ちたい」と2

年前にカメラマンに転身した。「お客様とのコミュニケーションの時間をゆったり取りたい」と自身のスタジオを持つことが念願だったmioさん。床や壁は白色にし、南側の大きな窓からは自然光が入るようにした。スタジオ撮影やスタジオレンタルのほか、イベントやワークショップも開催していく考え。「家族写真を撮るきっかけにもなれば」と笑顔。「1年を無事に過ごせた証になる。毎年撮ることで大切な思い出を積み重ねてほしい」と力を込める。趣味は陶器集め。国内外の旅行では必ず買って帰るといふ。